

参考資料

JR 服部駅・岡山県立大学周辺地域 におけるまちづくりについて

～ 創出型の地域拠点形成に向けて ～

1. 将来的な誘導区域設定の考え方
2. まちづくりのコンセプト
3. まちづくり事業の導入を想定するエリア

1. 将来的な誘導区域設定の考え方

JR 服部駅・岡山県立大学周辺地域では、まちづくり事業の導入にあたっては、開発予定区域等を市街化区域に編入することを前提とします。

また、まちづくり事業実施後の市街化の進展に伴って、人口密度が40人/haを超えることが予測され、安全で利便性の高い地域拠点として将来にわたって人口密度を維持することが望まれることから、将来的に「都市機能誘導区域」及び「居住誘導区域」の追加設定を検討する候補地として位置づけます。

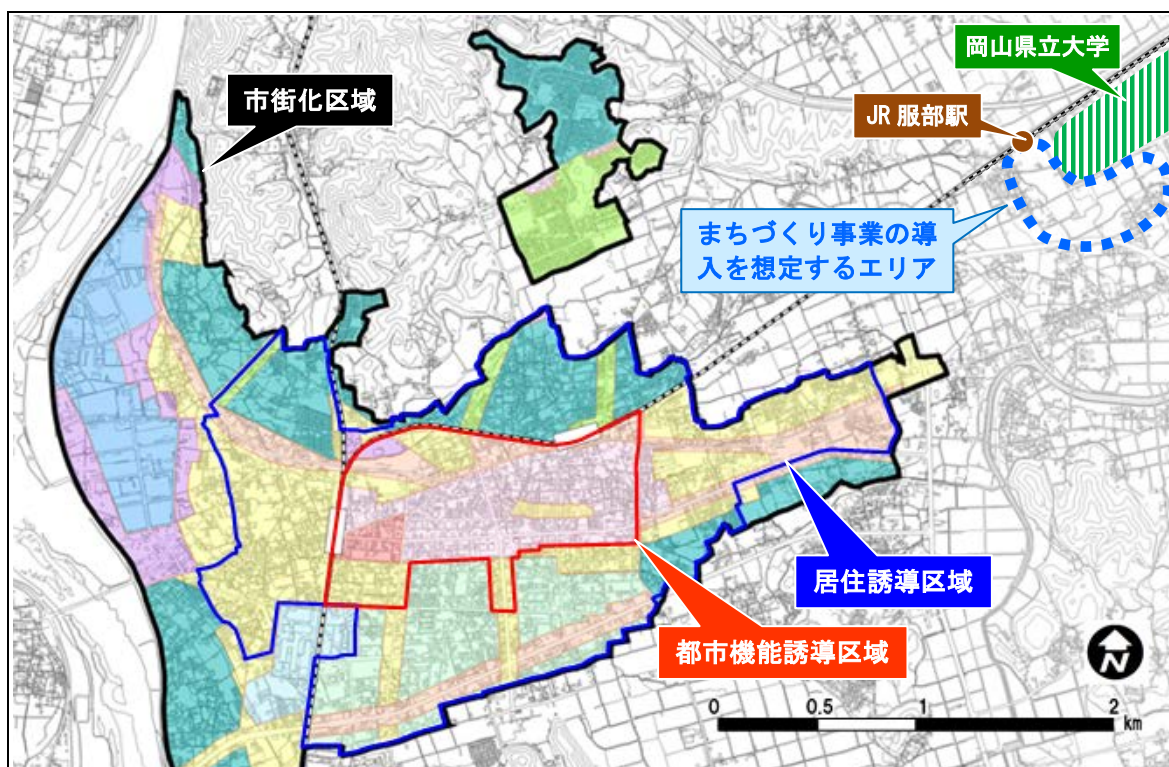
2. まちづくりのコンセプト

JR 服部駅・岡山県立大学周辺地域では、JR 桃太郎線のLRT化に合わせた駅周辺の計画的かつ一体的なまちづくりにより、居住機能をベースとして、岡山県立大学の学生等の若者と多世代の地域住民との交流を育むとともに、市内各地の拠点や周辺都市とのネットワークを生み出す本市の東の玄関口にふさわしい拠点形成を図ります。

岡山県立大学と連携し、多様な世代の交流を育む、安全で利便性の高い新拠点の形成

3. まちづくり事業の導入を想定するエリア

JR 服部駅・岡山県立大学周辺地域では、まちづくりのコンセプトに対応した計画的な市街地の創出に向けて、JR 服部駅の徒歩圏（半径800m）のJR 桃太郎線以南の岡山県立大学周辺のエリアを基本として、まちづくり事業（土地区画整理事業又は民間開発事業）を導入することを想定しています。



■ 地域拠点形成に向けたまちづくり事業導入の想定エリア



総社市